

**令和7年度  
芦安小学校  
後期 学校評価  
＜自己評価書＞**



**南アルプス市立小中一貫校  
芦安小学校**

令和7年度 芦安小・中学校

# 後期学校評価について

## <評価方法>

学校評価の方法として、「Ⅰ 学校運営・学校経営」、「Ⅱ 学習指導」、「Ⅲ 生徒指導」、「Ⅳ 保護者・地域との連携」、「Ⅴ 学校の特色ある取組」の5領域を設定し、取り組みの状況・結果を把握する方法としてアンケート（教職員・児童・保護者）を行った。質問に対しての回答選択肢は基本的に4段階である。

A：思う B：だいたいそう思う C：あまり思わない D：思わない

このうちAとBは肯定的なプラス評価、CとDは否定的なマイナス評価である。A・B・C・Dのそれぞれの選択肢を点数化し、A=4、B=3、C=2、D=1として集計し、回答者数で割って平均点を求めた。

・全体にプラス評価（A・B）が多ければ、平均点は3点以上になり、4点に近づいていく。

・全体にマイナス評価（C・D）が多ければ、平均点は2点以下となり、1点に近づいていく。

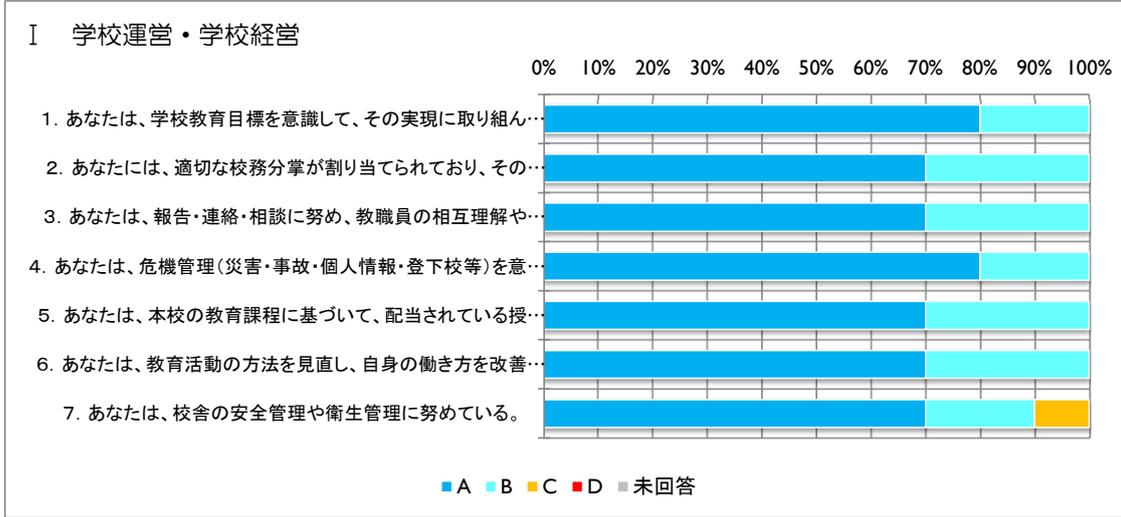
# 令和7年度芦安小学校（後期）学校評価「教職員アンケート」の結果と考察について

評価基準	A：そう思う	B：ややそう思う	C：ややそう思わない	D：そう思わない	10名回答
評価点数	A：4点	B：3点	C：2点	D：1点	

前期より、上回ったもの→青字 下回ったもの→赤字  
変わらないもの→黒字

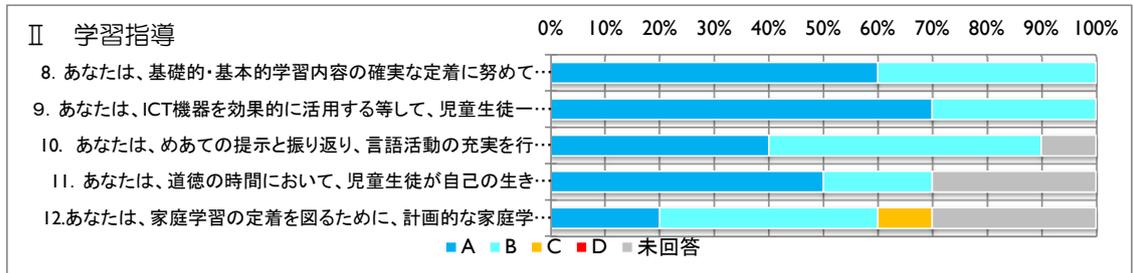
## I 学校運営・学校経営

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
1. あなたは、学校教育目標を意識して、その実現に取り組んでいる。	8	2	0	0	0	3.8	3.6
2. あなたには、適切な校務分掌が割り当てられており、その校務分掌を通して意欲的に学校運営に参画している。	7	3	0	0	0	3.7	3.5
3. あなたは、報告・連絡・相談に努め、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。	7	3	0	0	0	3.7	3.7
4. あなたは、危機管理（災害・事故・個人情報・登下校等）を意識した教育活動にあたっている。	8	2	0	0	0	3.8	3.8
5. あなたは、本校の教育課程に基づいて、配当されている授業時数を確認しながら、適切に教育活動を進めようとしている。（保健指導・給食指導・図書指導等も含めて）	7	3	0	0	0	3.7	3.7
6. あなたは、教育活動の方法を見直し、自身の働き方を改善しようと努めている。	7	3	0	0	0	3.7	3.5
7. あなたは、校舎の安全管理や衛生管理に努めている。	7	2	1	0	0	3.6	3.7



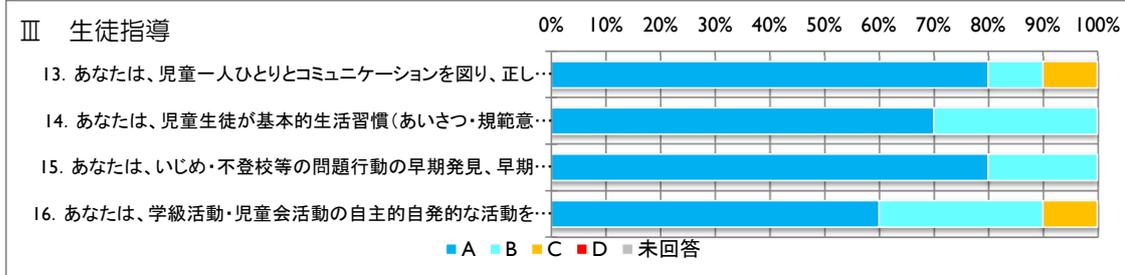
## II 学習指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
8. あなたは、基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。 (児Ⅱ-7・保Ⅱ-12)	6	4	0	0	0	3.6	3.6
9. あなたは、ICT機器を効果的に活用する等して、児童生徒一人一人の実態に応じた指導・支援に努めている。	7	3	0	0	0	3.7	3.6
10. あなたは、めあての提示と振り返り、言語活動の充実を行い、児童・生徒の主体的な学びに繋がる授業実践に努めている。	4	5	0	0	1	3.4	3.1
11. あなたは、道徳の時間において、児童生徒が自己の生き方を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることを意識した授業づくりに努めている。	5	2	0	0	3	3.7	3.2
12. あなたは、家庭学習の定着を図るために、計画的な家庭学習の手立てをしていますか。	2	4	1	0	3	3.1	3.0



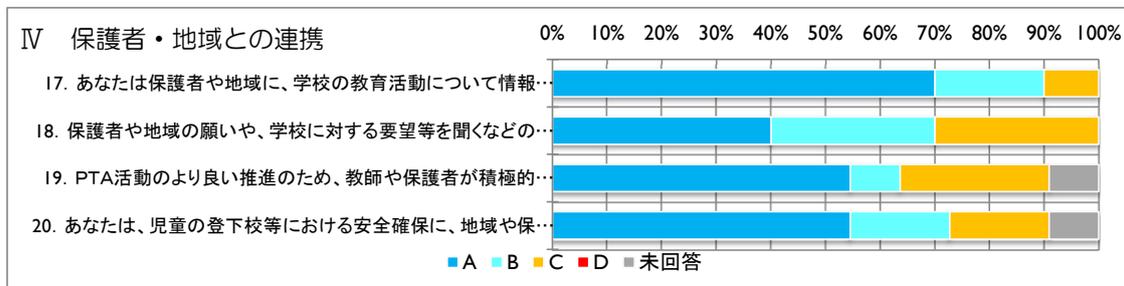
### Ⅲ 生徒指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
13. あなたは、児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解や共感的理解に努めている。「児・保Ⅰ-4」	8	1	1	0	0	3.7	3.5
14. あなたは、児童生徒が基本的生活習慣(あいさつ・規範意識・責任感・規則正しい生活等)を身につけられるよう、指導に努めている。	7	3	0	0	0	3.7	3.7
15. あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応に努め、組織的に対応しようと努めている。	8	2	0	0	0	3.8	3.9
16. あなたは、学級活動・児童会活動の自主的自発的な活動を促し、児童の「心の居場所づくり」となる学校、学級づくりに努めている。	6	3	1	0	0	3.5	3.5



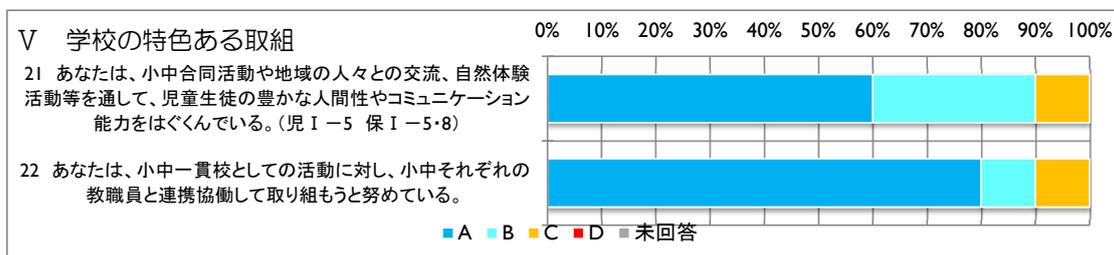
### Ⅳ 保護者・地域との連携

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
17. あなたは保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っている。	7	2	1	0	0	3.6	3.6
18. 保護者や地域の願いや、学校に対する要望等を聞くなどの機会や工夫をし、情報の収集に努めている。	4	3	3	0	0	3.1	3.2
19. PTA活動のより良い推進のため、教師や保護者が積極的に関わるよう努めている。	6	1	3	0	1	3.3	3.5
20. あなたは、児童の登下校等における安全確保に、地域や保護者とともに積極的に関わるよう努めている。	6	2	2	0	1	3.4	3.5



### Ⅴ 学校の特色ある取組

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
21. あなたは、小中合同活動や地域の人々との交流、自然体験活動等を通して、児童生徒の豊かな人間性やコミュニケーション能力をばぐくんでいる。(児Ⅰ-5 保Ⅰ-5・8)	6	3	1	0	0	3.5	3.8
22. あなたは、小中一貫校としての活動に対し、小中それぞれの教職員と連携協働して取り組もうと努めている。	8	1	1	0	0	3.7	3.8



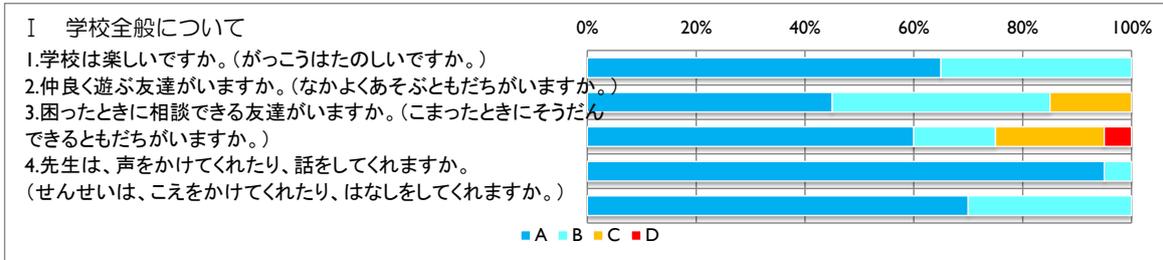
令和7年度芦安小学校（後期）「学校生活についてのアンケート（児童）」の結果と考察について

評価基準 A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない 20名回答  
 評価点数 A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

前期より、上回ったもの→青字 下回ったもの→赤字  
 変わらないもの→黒字

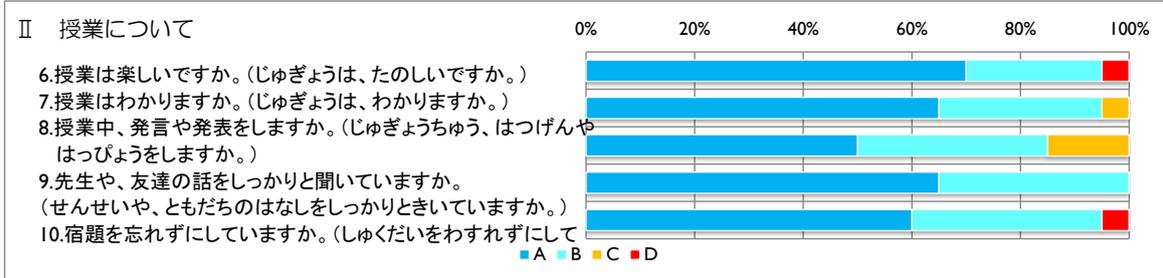
I 学校全般について

質問内容	A	B	C	D	後期評価	前期評価
1.学校は楽しいですか。	13	7	0	0	3.7	3.6
2.仲良く遊ぶ友達がいますか。	9	8	3	0	3.3	3.6
3.困ったときに相談できる友達がいますか。	12	3	4	1	3.3	2.8
4.先生は、声をかけてくれたり、話をしてくれますか。	19	1	0	0	4.0	3.7
5.中学校のお兄さんお姉さんと活動することはたのしいですか。	14	6	0	0	3.7	3.7



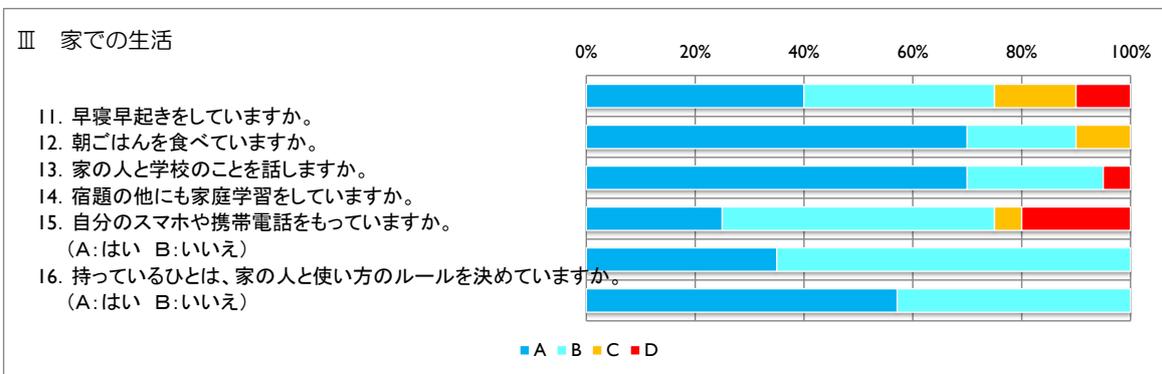
II 授業について

質問内容	A	B	C	D	後期評価	前期評価
6.授業は楽しいですか。	14	5	0	1	3.6	3.5
7.授業はわかりますか。	13	6	1	0	3.6	3.4
8.授業中、発言や発表をしますか。	10	7	3	0	3.4	3.3
9.先生や、友達の話をしっかり聞いていますか。	13	7	0	0	3.7	3.3
10.宿題を忘れずにしていますか。	12	7	0	1	3.5	3.2



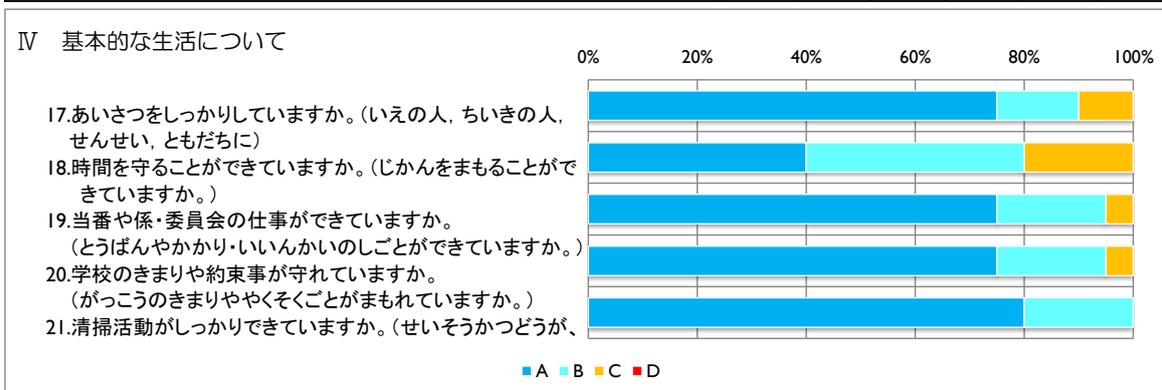
### Ⅲ 家での生活

質問内容	A	B	C	D	後期評価	前期評価
11. 早寝早起きをしていますか。	8	7	3	2	3.1	3.6
12. 朝ごはんを食べていますか。	14	4	2	0	3.6	3.7
13. 家の人と学校のことを話しますか。	14	5	0	1	3.6	3.5
14. 宿題の他にも家庭学習をしていますか。	5	10	1	4	2.8	2.8
15. 自分のスマホや携帯電話を持っていますか。 (A:はい B:いいえ)	7	13				
16. 持っているひとは、家の人と使い方のルールを決めていますか。	4	3				



### Ⅳ 基本的な生活について

質問内容	A	B	C	D	後期評価	前期評価
17.あいさつをしっかりとっていますか。	15	3	2	0	3.7	3.6
18.時間を守ることができていますか。	8	8	4	0	3.2	3.0
19.当番や係・委員会の仕事ができますか。	15	4	1	0	3.7	3.5
20.学校のきまりや約束事が守れていますか。	15	4	1	0	3.7	3.3
21.清掃活動がしっかりとできていますか。	16	4	0	0	3.8	3.6



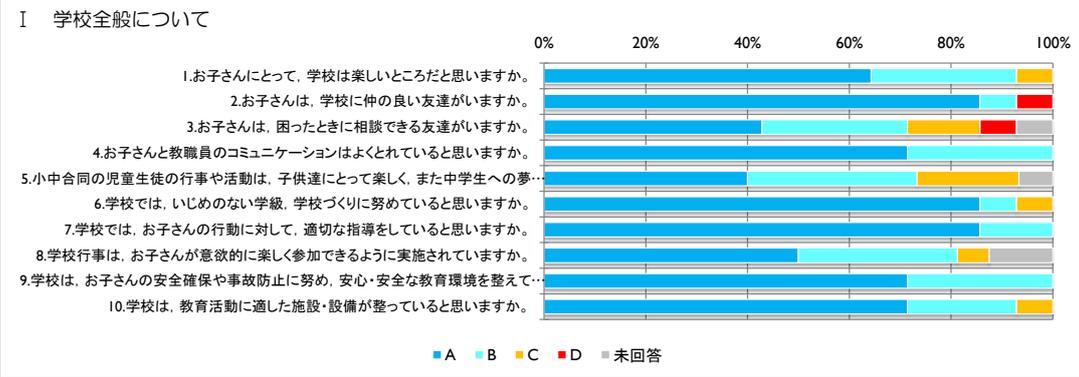
令和7年度 芦安小学校（後期）「学校評価アンケート（保護者）」の結果と考察について

評価基準 A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない 家庭数（16件中）1  
 評価点数 A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

前期より、上回ったもの→青字 下回ったもの→赤字  
 変わらないもの→黒字

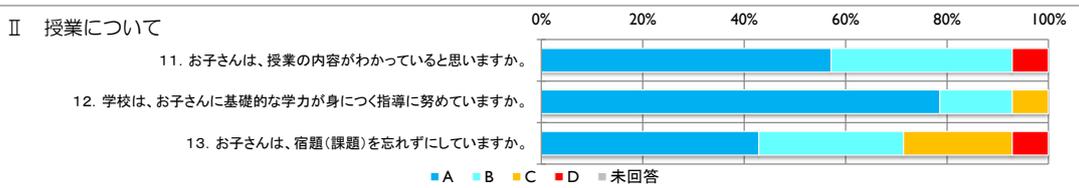
I 学校全般について

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
1.お子さんにとって、学校は楽しいところだと思いますか。	9	4	1	0	0	3.6	3.7
2.お子さんは、学校に仲の良い友達がありますか。	12	1	0	1	0	3.7	3.6
3.お子さんは、困ったときに相談できる友達がありますか。	6	4	2	1	1	3.2	3.0
4.お子さんと教職員のコミュニケーションはよくとれていると思いますか。	10	4	0	0	0	3.7	3.7
5.小中合同の児童生徒の行事や活動は、子供達にとって楽しく、また中学生への夢やあこがれを育むものとなっていますか。	6	5	3	0	1	3.2	3.2
6.学校では、いじめのない学級、学校づくりに努めていると思いますか。	12	1	1	0	0	3.8	3.6
7.学校では、お子さんの行動に対して、適切な指導をしていると思いますか。	12	2	0	0	0	3.9	3.6
8.学校行事は、お子さんが意欲的に楽しく参加できるように実施されていますか。	8	5	1	0	2	3.5	3.8
9.学校は、お子さんの安全確保や事故防止に努め、安心・安全な教育環境を整えていると思いますか。	10	4	0	0	0	3.7	3.8
10.学校は、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	10	3	1	0	0	3.6	3.6



II 授業について

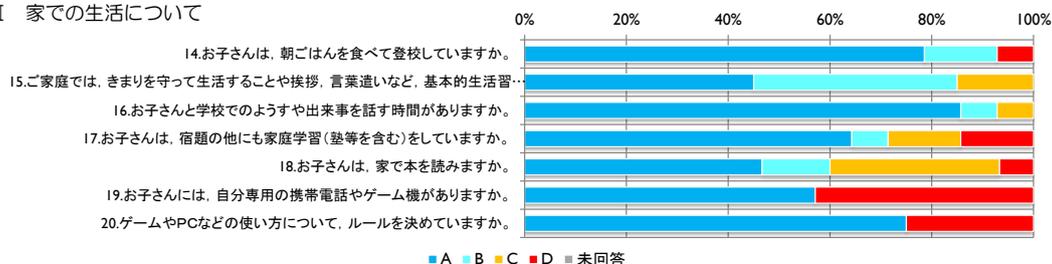
具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
11. お子さんは、授業の内容がわかっていると思いますか。	8	5	0	1	0	3.4	3.3
12. 学校は、お子さんに基礎的な学力が身につく指導に努めていますか。	11	2	1	0	0	3.7	3.9
13. お子さんは、宿題（課題）を忘れずにしていますか。	6	4	3	1	0	3.1	3.1



### Ⅲ 家での生活について

具 体 的 評 価 項 目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
14.お子さんは、朝ごはんを食べて登校していますか。	11	2	0	1	0	3.6	3.9
15.ご家庭では、きまりを守って生活することや挨拶、言葉遣いなど、基本的な生活習慣を身につけさせるようにしていますか。	9	8	3	0	0	3.3	3.7
16.お子さんと学校でのようすや出来事を話す時間がありますか。	12	1	1	0	0	3.8	3.7
17.お子さんは、宿題の他にも家庭学習（塾等を含む）をしていますか。	9	1	2	2	0	3.2	2.9
18.お子さんは、家で本を読みますか。	7	2	5	1	0	3.0	2.6
19.お子さんには、自分専用の携帯電話やゲーム機がありますか。	8			6	0		
20.ゲームやPCなどの使い方について、ルールを決めていますか。	6			2	0		

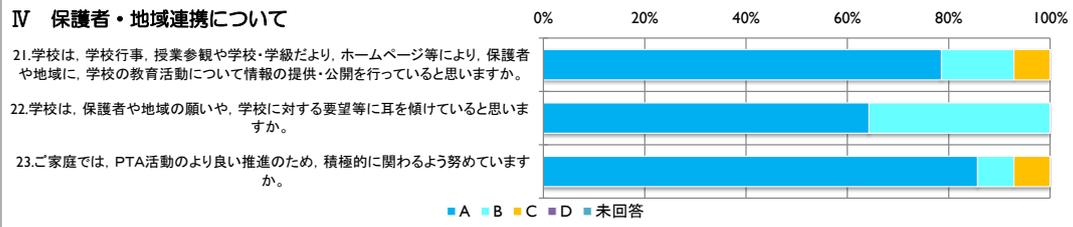
### Ⅲ 家での生活について



### Ⅳ 保護者・地域連携について

具 体 的 評 価 項 目	A	B	C	D	未回答	後期評価	前期評価
21.学校は、学校行事、授業参観や学校・学級だより、ホームページ等により、保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っていると思いますか。	11	2	1	0	0	3.7	3.7
22.学校は、保護者や地域の願いや、学校に対する要望等に耳を傾けていると思いますか。	9	5	0	0	0	3.6	3.4
23.ご家庭では、PTA活動のより良い推進のため、積極的に関わるよう努めていますか。	12	1	1	0	0	3.8	3.9

### Ⅳ 保護者・地域連携について



お忙しい中、アンケートへのご協力をありがとうございました。保護者の皆様から頂いた貴重なご意見を真摯に受け止め、子ども達にとってそして、保護者や地域の方々にとって、魅力ある学校を目指して、精進してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

## 令和8年度に向けての学校改善

### 1 学校運営・学校経営にかかわって

★持続可能な学校運営組織を構築していくために…

#### ① 校務分掌の見直し・改善

職員数が少ない職場であるため、どうしても一人の職員に関わる校務分掌は多くなる。前期学校評価の課題を踏まえ、校務分掌に関しては、1つの分掌に2名以上ずつ配置したり、全職員で関わるようにしたりすることによって、なるべく一人の教職員に負担がかからないようにしてきた。また、アンケートの結果から、職員同士が声を掛け合い、協力しながら働いている様子が伺えたことが喜ばしい。職員同士が協力しながら働けることは、児童の教育活動にも良い影響を与えられると考えられるので、今後も職員間のよりよい関係性を維持していきたい。更に今後は、持続可能な学校運営組織を構築していくために、一人一人の持つ仕事量を均等にできるように随時検討したり、それぞれの分掌ごとに来年度への申し送り事項をまとめたりして、次年度の教育活動をスムーズに行えるようにしていきたい。

#### ② 教育活動の見直し・改善

令和7年度は、昨年度の反省を踏まえ、教育活動が円滑に実施できたと考える。活動に入る前にしっかりと計画を立て、限られた時間の中で成果が得られるよう、情報交換をしながら取組むことができた。授業時数の確保に課題点があったため、年間計画を立てる段階で時数が確保できるように検討し、併せて教育課程を見直しながら、効果的な学校運営を行っていきたい。

#### ③ 「働き方改革」の推進

児童に対して効果的な教育活動を提供することを目的とした「働き方改革」を推進できるよう努めた。夏休みに行った「働き方改革ワークショップ」においての教職員からの意見をもとに、2学期からの取組として、「給食準備当番の交代制」を行い、教職員が各日で給食の準備を行い、当番ではない職員は、職員室でゆったりと給食を食べたり仕事をしたりして過ごせるようにした。また、12月からは、日課表の見直しを行い、4・5・6年生の金曜日6校時を国語にして、その国語の授業45分間を、朝の活動15分にモジュールとして週に3回行い、金曜日を全校5校時（14:50）で一斉下校にした。その結果、児童の放課後の時間にゆとりができたり、教職員が、放課後に授業準備や学級事務を行う時間を確保したりすることができた。しかし、業務が終わらずに遅くまで仕事をせざるを得ない実態がある。今後も職員が心身共にゆとりをもって、児童の教育活動を行うことができるように業務改善を含めた「働き方改革」を推進していく。

### 2 学習指導にかかわって

★児童が主体的に楽しく学ぶことができるようにするために…

#### ① ICTの積極的な活用

ICTの活用については、教職員が自己研鑽を進めて、授業の中で効果的な活用ができるように工

夫することで、利用が進んできている。今後も、ICTの活用した「個に応じた指導」と子どもたちのスキルの向上も目指していきたい。また、子どもたちがICTの活用に慣れてくると、情報モラルの教育も必要になる。今後も、道徳や特別活動の授業の中で児童の発達段階に応じた情報モラル教育も実施していく。

## ② 「分かる」「楽しい」授業の創造

具体物を適切に活用したり、ICTを利用してわかりやすく課題を示したり、全職員が丁寧に教材研究を行うことで、「分かる」「楽しい」授業に迫ることができたと考える。児童のアンケート結果からもその様子が伺えた。しかし、「授業は、楽しいですか。」「授業は、分かりますか。」の項目に否定的な回答をした児童が数名いた。今後も「個別最適な学び」と「協働的な学び」の2つを取り入れ、「誰一人取り残さない学び」を目指し、児童一人一人の特性に合った指導を更に模索していく必要があると考える。

## ③ 家庭学習（宿題・自主学習）の推進

宿題に関しては、ほとんどの児童が真面目に取り組んでいる様子がアンケートより伺うことができた。宿題以外の家庭学習に関しては、個人差があるが、家庭における自主学習の取り組み方については、各学級担任が工夫を行っている。今後も児童にあった家庭学習の方法を模索していきたい。

# 3 生徒指導にかかわって

★児童が安心して通うことができる学校にするために…

## ① 日々のコミュニケーションによる児童理解

児童の指導を行う上で大切になる人間関係づくりである。この点においては、職員が十分こまめに声をかけながら、児童と信頼関係を築くことができていたことがアンケートから伺えた。小小規模校の利点を生かし、児童が安心して学校で過ごすことができるように、全職員で全校児童を見守り、今後も児童理解を進めていきたい。

## ② 生徒指導上の問題（いじめ・不登校・児童間のトラブル等）の職員間での共通理解と対応

生徒指導上の問題に関しては、SCやSSWなどの専門家と連携を図りながら、対応をしてきた。児童の対応に関しては、教職員で学習会を行い、個々の児童の様子に合わせた指導を全職員で共通理解をしながら行うことができた。また、2学期より「プレイルーム」を開設し、児童個々の多様性に対応することができた。今後も、どんな小さなことでも「報告・連絡・相談」を大切にしていって、学級担任が生徒指導上の問題を一人で抱えることがないように、学校としてチームで対応していきたい。更に、学期ごとの「生活アンケート」を全職員で共有し、いじめやトラブルの早期発見・早期対応を心掛けたい。

# 4 保護者・地域との連携

★地域に開かれた学校であるために…

## ① 学校の情報発信の継続

学校長によるホームページへの記事の掲載及び学級担任による学年だよりの発行により、学校での児童の様子等を情報発信することができた。地域に開かれた学校であるためには、学校での出来

事や児童の様子を伝えることが大切であるので、来年度も継続していきたい。また、情報発信するだけでなく、保護者が学校教育について、願いや要望を伝える手段も考えていく必要がある。

## ② 地域人材の活用

地域の方々や保護者で組織された「農園サポーター」と共に、サツマイモを栽培し、草取り、収穫、焼き芋体験をすることができた。地域の方々と学校の児童生徒、教職員との触れ合いの機会にもなったことが喜ばしい。また、農業資材の準備も含めて農園サポーターの知識と経験はありがたかった。その他にも学校応援団コーディネーターと連携し、地域人材を活用して、児童のために有効な教育活動を目指していきたい。